マルチメディア
ユーザ ガイド

改訂第 1 版：2008 年 8 月

初版：2008 年 7 月

製品番号：490903-292

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　マルチメディア機能

お使いのコンピュータには、音楽を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピュータには、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画の撮影および共有ができる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストールされているマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるホットキー

注記：　お使いのコンピュータによっては、上に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピュータに搭載されているマルチメディア コンポーネントの確認および使用方法について説明します。

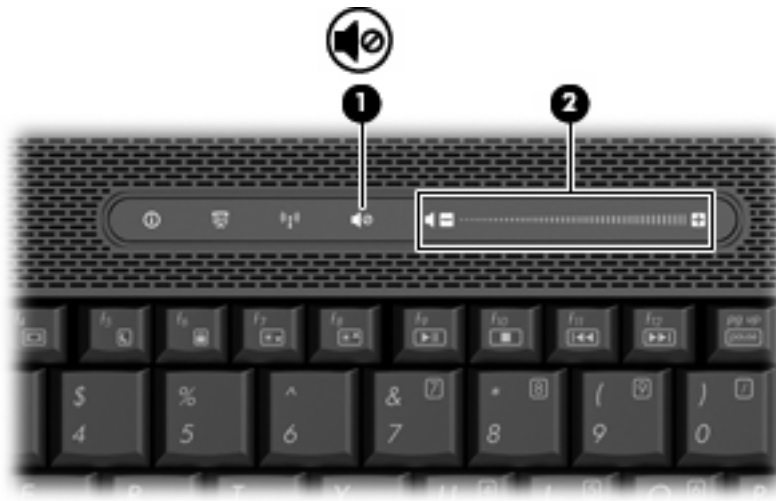
マルチメディア コンポーネントの各部

以下の図と表で、コンピュータのマルチメディア機能について説明します。

名称		説明
(1)	内蔵マイク（×2）	サウンドを録音します
(2)	HP Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(3)	HP Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(4)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(5)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します **注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピュータ本体のスピーカは無効になります
(6)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピュータ本体の音量コントロール（一部のモデルのみ）：
  - 音を消したり元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダ（**2**）で指を右から左にスライドさせます。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダ（**2**）で指を左から右にスライドさせます。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  b. 音量を調節するには、スライダを上下に移動します。**[ミュート]**チェック ボックスにチェックを入れると、音が出なくなります。

  または

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンをダブルクリックします。

  b. 音量を調整するには、**[スピーカ]**列で音量スライダを上下に移動します。バランスを調整したり、音を消したりすることもできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

  a. **[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]→[音量]**タブの順に選択します。

  b. **[タスクバーに音量アイコンを配置する]**チェック ボックスにチェックを入れます。

  c. **[適用]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能：

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

メディア操作機能の使用

メディア操作ホットキーとメディア ボタン（一部のモデルのみ）は、オプティカル ドライブに挿入されているオーディオ CD や DVD の再生を制御します。

メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、fn キー（**1**）とファンクション キー（**2**）の組み合わせです。

- オーディオ CD または DVD が再生中でない場合、fn ＋ f9（**3**）を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD または DVD の再生中は、以下のホットキーを使用できます。
  - ディスクの再生を一時停止または再開するには、fn ＋ f9（**3**）を押します。
  - ディスクを停止するには、fn ＋ f10（**4**）を押します。
  - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプタを再生するには、fn ＋ f11（**5**）を押します。
  - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプタを再生するには、fn ＋ f12（**6**）を押します。

2　マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの詳細について説明します。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアへのアクセス

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアにアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

注記： サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

注記： コンピュータに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

3　オーディオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピュータのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続された外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミングまたは FM ラジオ信号の受信（一部のモデルのみ）
- オーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカ、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピュータの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピュータの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバがある場合は、そのドライバをインストールします。

注記： ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]**→**[サウンドとオーディオ デバイス]**の順にクリックします。
3. [サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム イベント]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択して、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[エンターテイメント]**→**[サウンド レコーダ]**の順に選択します。
2. **[録音]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]を起動して、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

▲ コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]**→**[サウンドとオーディオ デバイス]**の順に選択します。

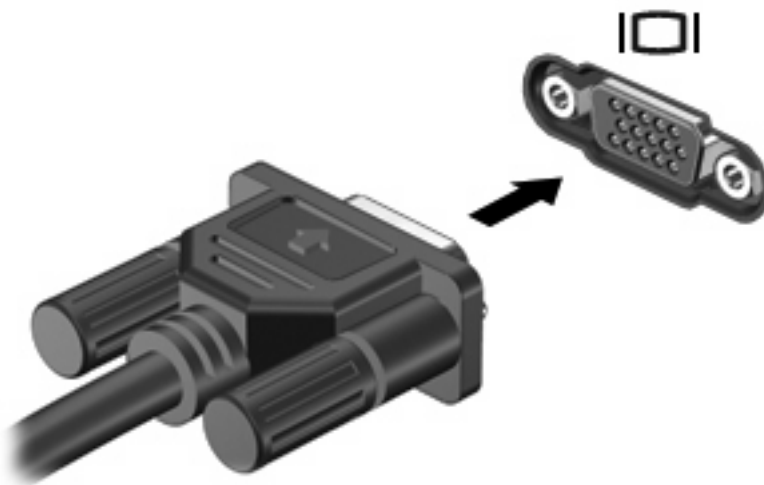
4　動画

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニタ コネクタの使用

外付けモニタ コネクタは、外付けモニタやプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのコネクタです。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニタ コネクタに接続します。

注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 キーを押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 キーを繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

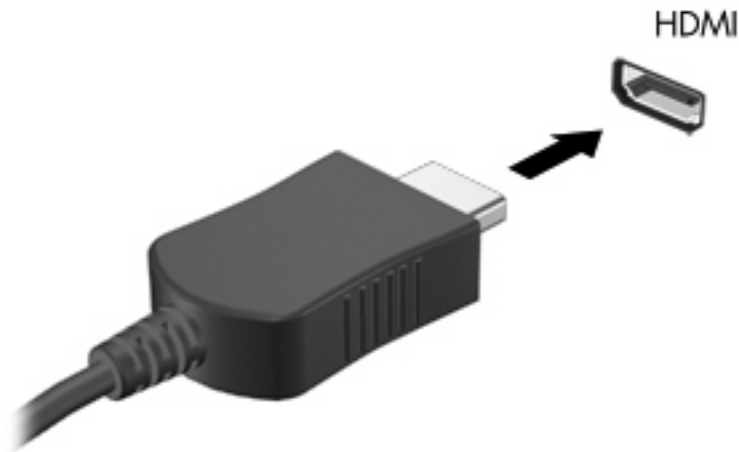
HDMI デバイスの接続

コンピュータには、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売のビデオまたはオーディオ デバイスとコンピュータを接続するためのコネクタです。

コンピュータは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピュータ本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

注記： HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、一般の電器店販売されている HDMI ケーブルを別途購入する必要があります。

HDMI コネクタにビデオまたはオーディオ デバイスを接続するには、以下の手順で操作します。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピュータの HDMI コネクタに接続します。

2. ビデオ デバイスの製造元の説明書を参照して、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピュータに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピュータの fn ＋ f4 キーを押します。

HDMI を使用したオーディオの設定（一部のモデルのみ）

HDMI のオーディオを設定するには、まず HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスをコンピュータの HDMI コネクタに接続します。次に、以下の手順でオーディオ再生の初期デバイスを設定します。

1. タスクバーの右端にある通知領域の[スピーカ]アイコンを右クリックして、**[オーディオ プロパティの調整]**をクリックします。
2. **[オーディオ]**タブをクリックします。**[音の再生]**に、**[HD Audio digital out]**および**[ATI HD Audio rear output]**の 2 つのデジタル出力デバイスのうち、どちらかが表示されます。表示されたデバイスを選択します。
3. **[OK]**をクリックします。

オーディオの出力先をコンピュータのスピーカに戻すには、以下の手順で操作します。

1. タスクバーの右端にある通知領域のスピーカ アイコンを右クリックして、**[オーディオ プロパティの調整]**をクリックします。
2. **[オーディオ]**タブをクリックし、**[音の再生]**で初期設定のデバイスを**[Sound MAX HD Audio]**に変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

5 オプティカル ドライブ

取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの確認

▲ **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。

コンピュータに取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの種類が[リムーバブル記憶域があるデバイス]に表示されます。

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクでは、情報を保管または移動したり、動画や音楽を再生したりします。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

以下の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブでオプティカル ディスクからの読み取りが可能で、モデルによっては書き込みも可能です。

注記： 一覧には、お使いのコンピュータでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。また、サポートされているオプティカル ドライブすべてが一覧に記載されているわけではありません。

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアの読み取り	CD-R/RW メディアへの書き込み	DVD（DVD+R DL、DVD ±RW/R、DVD-RAM を含む）への書き込み	LightScribe CD または DVD へのラベルの書き込み	ブルーレイの読み取り	ブルーレイ R/RE への書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可	不可	不可
DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ	可	可	不可	不可	不可	不可
DVD±RW スーパーマルチ DL* LightScribe † ドライブ	可	可	可	可	不可	不可
ブルーレイ R/RE DVD±RW スーパー マルチ DL*（2 層記録（DL）対応）ドライブ	可	可	可	不可	可	可

*2 層記録ディスクには、1 層式のディスクよりも多くのデータを保存できます。ただし、このドライブで書き込まれた 2 層記録（DL）対応ディスクは多くの単層 DVD ドライブおよびプレーヤに対応していない可能性があります。

† LightScribe ディスクは別途購入する必要があります。LightScribe は、白黒の静止画像によく似たグレースケール画像を作成します。

正しいディスクの選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD は主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップ用に使用されます。DVD は CD と同じ形態ですが、容量は 6 ～ 7 倍になります。

注記： お使いのコンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、ここで説明しているすべての種類のオプティカル ディスクをサポートしていない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（一度のみ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要のあるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

空の DVD±R ディスクは、大量の情報を永続的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD+RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最適です。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤでの読み取りに

対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク

BD とも呼ばれるブルーレイ ディスクは、HD 対応動画などのデジタル情報を保存する高密度のオプティカル ディスク形式です。単層のブルーレイ ディスクには 25 GB のデータを保存でき、これは単層 DVD の容量（4.7 GB）の 5 倍以上です。2 層のブルーレイ ディスクには 50 GB のデータを保存でき、これは 2 層 DVD の容量（8.5 GB）のおよそ 6 倍です。

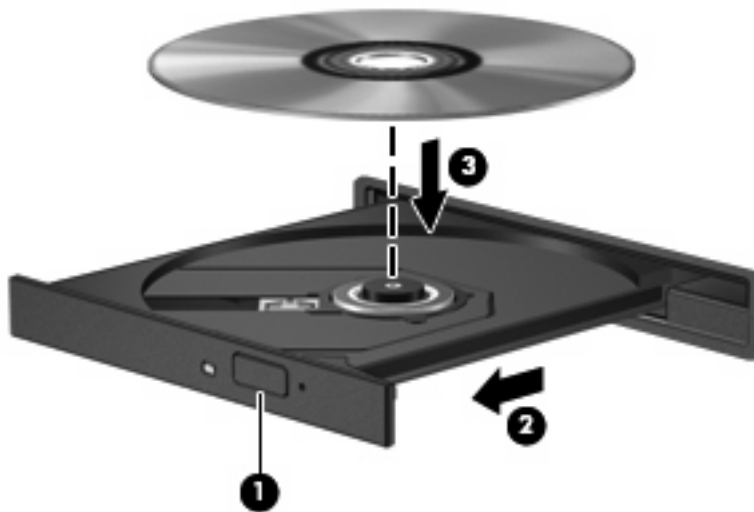
通常は、以下の用途で使用します。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画

CD または DVD の再生

1. コンピュータの電源を入れます
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディアのコンテンツ（内容）をどのように扱うかについての選択を求められます。

自動再生の設定

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. デバイス（CD-ROM ドライブなど）を右クリックし、次に**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[自動再生]**タブをクリックし、実行可能な動作のどれかを選択します。
4. **[OK]**をクリックします。

注記： 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインを参照してください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

CD または DVD のコピー

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio]**（ロキシオ）→**[Creator Business]**（クリエイタ ビジネス）の順に選択します。
2. 右側のパネルで、**[ディスクのコピー]**をクリックします。
3. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
4. 画面右下の**[コピー]**をクリックします。

   [Creator Business]がコピー元のディスクを読み取り、そのデータをハードドライブの一時フォルダにコピーします。
5. 指示が表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

   データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

CD または DVD の作成（書き込み）

お使いのコンピュータに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[Roxio Creator Business]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[Windows Movie Maker]を使用します。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参照してください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。
- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の手順で操作します。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD を、オプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. データ、オーディオ、またはビデオなど、作成する CD または DVD の種類を選択します。
5. **[スタート]→[エクスプローラ]**の順に右クリックして、元のファイルを保存したフォルダを表示します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。

CD または DVD の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

再生の中断の予防

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスタンバイを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスタンバイを起動しないでください。起動すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  ◦ 再生が再開します。

  または

  ◦ マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。

- システムのリソースを増やします。

  プリンタやスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上します。

  デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

  ◦ アイコン以外の、デスクトップ上の任意の場所を右クリックし、**[プロパティ]**→**[設定]**の順に選択します。

  ◦ **[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]→[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**の順に選択します。
3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横の（＋）記号をクリックし、地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックします。次に**[プロパティ]**をクリックします。
4. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
5. **[OK]**をクリックします。

6　HP Web カメラ

お使いのコンピュータには、ディスプレイの上部に HP Web カメラが内蔵されています。プリインストールされたソフトウェアを使用すると、Web カメラを使用して写真の撮影、動画の録画、またはオーディオの録音ができます。写真、録画した動画、または録音したオーディオをプレビューして、コンピュータのハードドライブに保存できます。

Web カメラおよび[HP Webcam]ソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Webcam]**の順に選択します。

[HP Webcam]ソフトウェアを使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画：動画の録画や再生を行います。また、ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、動画を電子メールで送信したり、YouTube にアップロードしたりできます。
- オーディオ：オーディオの録音や再生を行います。
- 動画の再生：UVC（Universal Video Class）カメラをサポートするインスタント メッセージ ソフトウェア ソリューションで使用します。
- スナップ写真：静止画像を撮影します。
- HP Presto! Bizcard（一部のモデルのみ）：名刺を連絡先情報に使用できるデータベースに変換するために使用します。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラの使用時は以下のガイドラインを参考にしてください。

- ビデオ チャットを始める前に、最新バージョンのインスタント メッセージ プログラムを用意します。
- ネットワーク ファイアウォールの種類によっては、Web カメラが正常に機能しない場合があります。別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザと通信するときに動画の表示や送信に問題が生じる場合は、一時的にファイアウォールを無効にします。

  注記： 特定の状況下で、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を根本的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

- 可能な限り、Web カメラの背後と写真領域の外側に、明るい光源を配置します。

注記： Web カメラの使用について詳しくは、[HP Webcam]ソフトウェアの**[ヘルプ]**メニューを参照してください。

Web カメラ プロパティの調整

以下のような Web カメラのプロパティを調整できます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定すると明るい画像になり、輝度を低く設定すると暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色（赤、緑、または青など）から区別する色合いを調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **[シャープネス]**：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- **[ガンマ]**：画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整することで、大幅に陰影およびハイライト部分を変更することなく、中間色の灰色部分の輝度を変化させることができます。ガンマを低く設定すると灰色はより黒く、濃い色はより濃くなります。
- **[逆光補正]**：バックライトの明るさを調整します（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します）。
- **[夜間モード]**：低光量の状態を補正します。
- **[ズーム]（一部のモデルのみ）**：写真撮影や動画録画でのズームのパーセンテージを調整します。
- **[水平方向]**または**[垂直方向]**：画像を水平方向または垂直方向に回転させます。
- **[50 Hz]**または**[60 Hz]**：ちらつきのない動画の録画のために使用するシャッター速度を調整します。

複数の明るさの状態用にあらかじめ設定されたカスタマイズ可能なプロファイルによって、「白熱灯」、「蛍光灯」、「ハロゲン」、「晴れ」、「曇り」、「夜」といった明るさの状態を補正します。

Web カメラのフォーカス モードの制御（一部のモデルのみ）

フォーカス モードには以下のオプションがあります。

- **[Normal]**（ノーマル）：カメラの出荷時設定は通常の写真に適しています。最短焦点距離がレンズから 1 m 程度、最長焦点距離は無限遠です。
- **[Macro]**（マクロ）：クローズアップ フォーカス設定。このモードは至近距離から写真や動画を撮影するためのものです（一部のモデルのみ）。

注記： [HP Presto! Bizcard]（一部のモデルのみ）は、操作中はマクロ モードに設定されるように、常にプリセットされています。

[HP Webcam]のフォーカス モードを表示または変更するには、以下の手順で操作します。

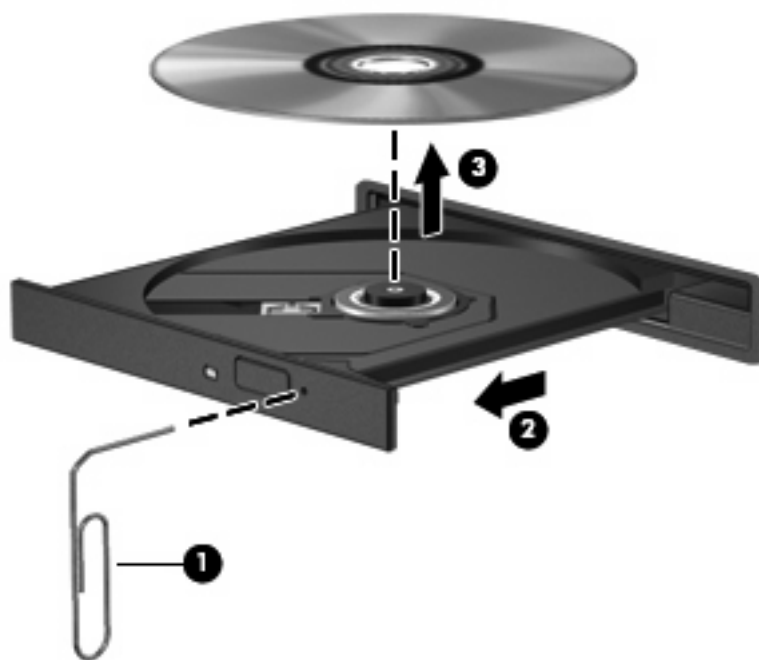
▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Webcam]→[Settings]**（設定）**→[Options]**（オプション）の順に選択します。

7 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャ]を使用してデバイスのトラブルシューティング、およびデバイス ドライバの更新、アンインストール、または無効化を行います。

[デバイス マネージャ]でデバイスとドライバを確認するには、以下の手順で操作します。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
3. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]**→**[ハードウェア]**タブの順に選択して、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[ディスク ドライブ]**または**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。
5. オプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
   - ドライバを更新する。
   - デバイスを無効にする。
   - ハードウェアの変更をスキャンする。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要なドライバをすべてインストールします。
   - **[プロパティ]**をクリックして、デバイスが正しく動作しているかどうかを確認する。その後、状況に応じて以下の操作を行います。
     - **[トラブルシューティング]**をクリックして、問題を解決します。
     - **[ドライバ]**タブをクリックして、このデバイスのドライバを更新、アンインストール、または無効化します。

ディスクが再生できない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスタンバイを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスタンバイを起動しないでください。起動すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  - 再生が再開します。

  または

  - マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
  - プリンタやスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上します。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

    1. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[プロパティ]**→**[設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

ディスクが自動的に再生されない場合

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. デバイス（CD-ROM ドライブなど）を右クリックし、次に**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[自動再生]**タブをクリックし、実行可能な動作のどれかを選択します。
4. **[OK]**をクリックします。

注記： 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクに傷がついていたり、損傷していないことを確認します。
- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。

    1. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[プロパティ]→[設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。
  - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn ＋ f4 を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。

2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニタの設定を行います。

   a. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[プロパティ]→[設定]**の順に選択します。

   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記： 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

コンピュータにプリインストールされている[InterVideo WinDVD 8 BD（Blu-Ray）Player]（またはそれ以上のバージョン）を使用して、DVD を再生してください。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スタンバイおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類については詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャ]を使用してデバイスの問題を解決し、デバイス ドライバを更新するか、アンインストールするか、無効にします。

[デバイス マネージャ]でデバイスとドライバを確認するには、以下の手順で操作します。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
3. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]→[ハードウェア]**タブの順に選択して、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[ディスク ドライブ]**または**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。
5. 表示されているオプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
   - ドライバを更新する。
   - デバイスを無効にする。
   - ハードウェアの変更をスキャンする。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要なドライバをすべてインストールします。
   - **[プロパティ]**をクリックして、デバイスが正しく動作しているかどうかを確認する。その後、状況に応じて以下の操作を行います。
     - **[トラブルシューティング]**をクリックして、問題を解決します。
     - **[ドライバ]**タブをクリックして、このデバイスのドライバを更新、無効化、またはアンインストールします。

新しいデバイス ドライバが必要な場合

Microsoft®デバイス ドライバの入手

お使いのコンピュータは、新しいデバイスが接続されたときに Microsoft デバイス ドライバを自動的にチェックしてインストールするよう設定されています。

HP デバイス ドライバの入手

最新の HP デバイス ドライバは、以下のどちらかの方法で入手できます。

- [HP Update]（HP アップデート）の使用
- HP の Web サイトの使用

[HP Update]を使用するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Update]**の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして、HP ソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開き、http://www.hp.com/support/に移動します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
4. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

索引